

中 守破離



令和5年6月21日（水）第11号

げ し 夏至

昼間の時間が一番長い日



広島今日の日の出は午前4時58分、日の入りは午後7時26分で、昼間の時間は14時間28分。これが1年で一番長い昼間の時間になります。そう、今日6月21日は「夏至」なんです。この時期は、天気のいい日なら、夜の8時ごろでもまだあたりが少し明るかったりしますよね。ちなみに北海道だと、この時期は朝の3時にはあたりが少しずつ明るくなってきます。

夏至の今日までは、毎日少しずつ日が長くなってきましたが、明日からは少しずつ日が短くなっていきます。つまり暦（こよみ）でいえば今日が1年の折り返し地点にあたるのです。そして、もう1つの折り返し点、1年で一番昼間の時間が短いのが「冬至」です。今年の冬至は12月22日（金）です。この日、仁方中学校は2学期の終業式の日。はたしてその時、自分はどんな状況にあるのかを考えてみましょう。

3年生は、12月18日（月）～20日（水）で期末三者懇談会が終わり、多くの人が最終的な志望校を決めている時期です。1月に私立高校を受験する人は入学願書の下書きを始めているかもしれません。今から半年後の三者懇談会でどんな話をするようになるのか、どの高校の願書を手に行っているのか、今はまだ分かりません。ただ分かっているのは、「その日までの半年間で自分がどれだけ頑張るかそれが決まる」ということです。自分の過ごし方で半年後の自分が決まってくる。それは2年生も1年生も同じです。

同じ1日でも、すごく長く感じる1日もあれば、あっという間に過ぎてしまう1日もあります。何かに夢中になっているとき、やらなければならない締め切りが近いとき、まったくやる気にならないとき…私たちのそんな状態にはまったく関係なく、時間は正確に同じペースで過ぎていきます。部活動でも勉強でも、目標に向けてやらなければならないことがあり、そのために使うことができる時間は決まっています。

自分にあたえられている時間を大切にできる人が実力を伸ばす。

表現する力を伸ばしていこう

公立高校入試の自己表現に備える



広島県の公立高校入学者選抜制度が昨年度から大きく変わりました。以前は選抜Ⅰ（2月始め）と選抜Ⅱ（3月始め）の2回に分けて行われていた試験が、2月末の1回だけになり、入試科目として「自己表現」の試験が加わりました。「自己表現」の試験とは「自分自身のこと（得意なことやこれまで取り組んできたことなど）や高等学校に入学した後の目標などについて、5分間で表現する」という試験です。

仁方中学校では、みんなが入試の時に自信を持って自己表現できるよう力を付けていくために、普通の授業の中で「表現する場」を全教科でつくるようにしています。普通に発表するだけでなく、班での話し合いで互いの意見を伝え合ったり、班の意見を全体に伝えたり、様々な場面で「表現する力」を伸ばしていく授業づくりをすすめています。夏休みから2学期以降は「総合的な学習の時間」で「自己表現力」をさらに伸ばしていきます。積極的に挑戦していきましょう！

